

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.191 2016.8.24

夏休み親子参加イベント「議事堂見学会」を開催

8月9日(火)、県議会を身近に感じ、関心を高めてもらうため、小学生の親子を対象としたイベント「議事堂見学会」を開催しました。

午前と午後を合わせて83名が参加し、本会議場や委員会室を見学しました。

また、議長室では宮崎栄治郎議長から県議会の説明を聞き、議長の椅子に座って写真を撮るなど、県議会の歴史や仕組みについて楽しみながら学びました。



[☆詳しくはホームページをご覧ください。>](#)



県民の声

【議事堂見学会参加者の声】

このコーナーでは、8月9日(火)に開催した議事堂見学会に参加された方々から頂戴したコメントをご紹介します。

- 初めて県議会に来ましたが、とても大きかったため圧倒されました。国会などとも比べながら見学できたのでよかったです。(小学6年生・女子)
- 普段めったに行けない所に行けるという、とても貴重な経験ができたので楽しかった。(小学6年生・男子)
- なかなか入ることのない議場や議長室にも入ることができ、貴重な体験ができたと思います。
これをきっかけに子どもたちにも関心を持ってもらいたいと思います。(保護者)

[☆議事堂見学会の様子は、ホームページに掲載しています。》](#)

【県議会フォトコンテスト受賞者の声】

県議会では、より身近で、親しみを感じていただける県議会づくりを進めるためフォトコンテストを実施しています。

このコーナーでは、受賞された方々から頂戴したコメントをご紹介します。

今回は、第11回フォトコンテストで入賞された2作品をご紹介します。

第11回フォトコンテスト モバイル写真部門
入選 山本 由香里様(川越市)
★テーマ★ 埼玉の四季
★作品名★ 「虫捕り」



お寄せいただいた声

毎日、子育てで慌ただしい日々を過ごしていますが、日々の情景を写すことで大切なものが思い出されます。

野道でおばあちゃんと子どもたちで遊んだ楽しい思い出をいつまでも残すことができました。

これからもたくさん写真を撮っていきたいと思います。

第11回フォトコンテスト モバイル写真部門
入選 村野 恵美様(坂戸市)
★テーマ★ 自由(フリー)
★作品名★ 「Over the Rainbow」



お寄せいただいた声

台風一過の昼下がりに、仕事の帰り道に突然目の前に現れた大きな虹。みんなに見せてあげたいという一心で携帯のカメラで夢中になって撮りました。

そこへ偶然にも虹を渡っていくかのような飛行機が入り込んできたのです。奇跡のような素敵な演出に感動！

その光景に「Over the Rainbow」のメロディーがふと頭に浮かび、私の中ではBGM付きのお気に入りの一枚となりました。

[☆フォトコンテストの入賞作品は、県議会フォトギャラリーでもご覧いただけます。》](#)



インフォメーション

【第12回埼玉県議会フォトコンテスト作品募集中！】

議会事務局では、現在「第12回埼玉県議会フォトコンテスト」の作品を募集しています。

どなたでも、また何点でも応募できます。

応募要領は、県議会ホームページからご覧いただけます。

皆さまからのご応募お待ちしております！



[☆詳しくはホームページをご覧ください。>>](#)



議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：
8月1日～5日
作者：勅使河
原和風会
富山雪庭様
花材：ヒマワ
リ、ヤツデ



展示期間：
8月8日～10
日
作者：日本古
流
加藤一紀様
花材：ヤシ、ア
ンスリウム



展示期間：
8月10日～12
日
作者：日本古
流
加藤一紀様
花材：レンギョ
ウ、トルコキ
キョウ、スター
チス、晒し(さ
らし)ミツマタ



展示期間：
8月15日～19
日
作者：未生流
中山文甫会
安達博甫様
花材：ドウダン
ツツジ、ヤツ
デ、アンスリウ
ム、オンシジウ
ム、デンファレ

◇◆生け花の作者の方に聞きました！◆◇

【Part1】



〈勅使河原和風会 富山雪庭様〉

Q: 今回の花材を選んだ理由は何ですか？

A: 夏らしさを出すために、ヒマワリを使用しました。
このヒマワリは「ゴッホのヒマワリ」をイメージしています。
また、まつかさ(まつぼっくり)を使用し、遊び心を取り入れてみました。

Q: 所属する流派(勅使河原和風会)について教えてください。

A: 「好き花を、好きなだけ、好きな花瓶にさして楽しむ」ことをモットーに
思い思いの花を生けることを大切にしております。

【Part2】



〈日本古流 加藤一紀様〉

Q: 8月8日～10日展示の作品のポイントは何ですか？

A: 「涼しさ」をテーマにして生けました。
夏は花材選びが難しいのですが、暑さに強いヤシとアンズリウムを使い、シンプルに仕上げることによって「夏らしさ」と「涼感」を生み出せるよう心掛けました。

Q: 8月10日～12日展示の作品のポイントは何ですか？

A: 壺の色が青でしたので、花材自体の色は抑えめに、静かで落ち着いた
のある作品に仕上げました。

Q: 所属する流派(日本古流)について教えてください。

A: 「古典を大切に」がテーマの流派です。
今回の作品のように「シンプルに」生けることを大切にしています。

【Part3】

〈未生流中山文甫会 安達博甫様〉

Q: 今回の花材を選んだ理由は何ですか？

A: 「涼しさを感じられる、夏らしい」作品となるよう心掛けました。
また、全体的に淡い色を使い、観る人がやさしさを感じられるよう意識して生けました。

Q: 所属する流派(未生流中山文甫会)について教えてください。

A: 未生流中山文甫会は未生流から独立し、伝統的な核花と現在の住宅事情に合わせ、自由な発想で作品を手掛ける流派です。
これからも様々な作品にチャレンジしていきたいと思っています。

[☆現在展示中の作品や過去の展示作品は県議会ホームページでご覧になれます。》](#)

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

